

平成27年度 ニシン漁獲物調査速報(7)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月12日朝の東しゃこたん漁協(古平地区)荷受け分の漁獲物測定調査を実施しましたので、結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

この日の荷受け分もこれまでと同じく「15入れ」が大半となりましたが、出荷は一船のみで当地は現在あまりニシンが出てこない操業状況が続いているようでした。平均体重は339gで今期を象徴する大型魚構成となっています。

2. メスの完熟率(表1)

深みの混獲物のため今回も完熟魚はみられませんでした。6年魚以上の68%は産卵を終えた個体、5年魚以下の86%がこれから産卵する個体となっていました。この状況から依然として大型魚の沿岸への来遊は続くものとみられますが、漁獲量からすると量的にはさほど期待できず今後は5年魚以下の魚の来遊が中心となっていく様相でした。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成は28cmにモードのある4年魚(2012年級)、30cmにモードのある5年魚(2011年級)が中心ですが、前回調査(速報3)の時と比べ、前記のとおり31cm以上の産卵を終えた大型高齢魚が戻ってきたことから、再び大型魚の割合が増えている状況です。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	15入	18入	合計
漁獲重量(12日荷受分)	1,473.03	65.50	1,538.5
漁獲尾数	4,305	234	4,539
測定尾数	30	36	66
測定尾数(精密)	30	36	66
平均尾叉長(mm)	308	287	307.0
平均体重(g)	342	280	339.0
雌の比率	0.43	0.58	—
完熟率*	0.00	0.00	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

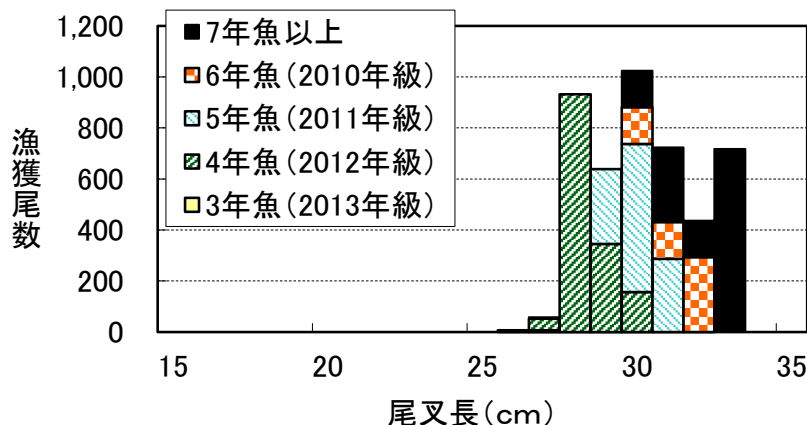


図1 2016年2月12日古平地区 年齢別尾叉長組成